

国立障害者リハビリテーションセンター学院と 入間市との連携に関する協定書

国立障害者リハビリテーションセンター学院（以下「甲」という。）と入間市（以下「乙」という。）は、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲と乙（以下「両者」という。）の児童発達支援に関する連携協力体制を構築することにより、地域における児童発達支援の質の向上を図り、もって甲の発展、乙のまちづくりに寄与することを目的とする。

（連携協力事項）

第2条 両者は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携し協力する。

- （1）甲の専門的な知見を乙の児童発達支援センター（以下「センター」という。）の事業に活用すること
- （2）乙のセンターの事業を甲の人材養成・研修に活用すること
- （3）乙のセンターにおける実践等に基づき、より良い子育て支援及び発達支援のあり方について話し合いを行うこと
- （4）両者の効果的な連携のあり方について協議すること
- （5）その他、両者が必要と認める事項

（協議事項）

第3条 連携協力の内容および方法等については、両者で協議して定めることとする。

（期間）

第4条 この協定の有効期間は、協定締結の日から令和5年3月31日までとする。ただし、本協定書の有効期間満了日の3か月前までに、両者のうち、いずれからも申し入れがない場合には、更に3年間自動更新されるものとし、以後同様とする。

(その他)

第5条 この協定書に定めるもののほか必要な事項は、両者が協議して定めることとする。

この協定の成立を証するため、本協定書を2通作成し、署名の上、甲乙各々その1通を保有する。

令和2年3月19日

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

(甲) 国立障害者リハビリテーションセンター学院

学院長

深津 玲子

埼玉県入間市豊岡1丁目16番1号

(乙) 入間市

市長

田中 龍夫